

特別展「今和次郎 採集講義——考現学の今」 関連ワークショップ

「みんなくで考現学的パワースポットを探そう」(申込不要)
5月6日(日) 10時30分〜12時

「みんなくを飛び出してモノ調べ・風景調べ」(事前申込要)
1回目 5月27日(日) 10時30分〜12時
2回目 6月9日(土) 11時〜14時30分

※2回連続のワークショップです。

超日常観察



「みんなくで考現学的パワースポットを探そう」

「考現学」的視点でみんなく展示場を散策し、パワースポットを見つけていただきます。
みんなくは展示場にある様々な地域の食器、履物、衣服など地域の枠を超えて用途や形などをテーマに考現学の調査手法の「一切しらべ」を実際に行います。

- 【場所】 国立民族学博物館 本館2F ナビひろば
- 【日時】 5月6日(日) 10時30分〜12時
- 【講師】 文化資源研究センター 久保正敏(国立民族学博物館・教授)
- 【対象】 一般(小学生以下は保護者同伴で参加可)
- 【参加】 申込不要 無料
- 【受付】 当日受付



企画者 株式会社情報センター発行
「超日常観察」より
著者 岡本信世氏
岡本靖子氏による

生活が大きく変化した関連大震災後に今和次郎が創始した考現学は、世相・風俗を野外観察、記録すること、庶民の生活文化の変化をとらえようとする学問です。今和次郎の残したスケッチやノートなどは、庶民生活への暖かい眼差しが伺える解説や数量化を含んだスケッチなど、魅力的な図表表現に特徴があります。今和次郎の研究は、その後、流行、服装、生活学などに広がり、全国的な「生活学会」、京都を中心に活動する「現代風俗研究会」、東京を中心に活動する「路上観察学会」、そして、講師の岡本信也・岡本靖子氏を中心として名古屋を中心に活動する「野外活動研究会」などに受け継がれています。



「みんなくを飛び出してモノ調べ・風景調べ」

※こちらは2回連続のワークショップです。

1回目 5月27日(日) 10時30分～12時
2回目 6月9日(土) 11時～14時30分

何かテーマを決めて身近な風景やモノを見渡し、写真に撮って「一切しらべ」。例えば、ある種の看板で、池の近くにある「危険！」の看板のデザインは地域によって異なった表現をしています。日常生活にある様々な風景を地域、性別、大人、子供、年齢などで観察して差異を記録し、それらの写真やスケッチを持ち寄って参加者で議論風築。一つの視点に基づいた徹底調査や比較は、誰でもできる文化研究の第一歩です。身近な生活世界を見つめ新たな発見を見つけてみましょう。

【場所】 国立民族学博物館 本館2F ナビひろば

【日時】 1回目 5月27日(日) 10時30分～12時

《「考現学」についてインストラクショナル》

2回目 6月9日(土) 11時～14時30分

《参加チームによる課題発表とデイスカッション》

【司会】 文化資源研究センター 久保正敏(国立民族学博物館・教授)

【講師】 特別展「今和次郎 採集譚義一―考現学の今―」実行委員 岡本信也氏、岡本靖子氏(野外活動研究会)

【参加条件】 一般 左記が可能な方。

- ◎ 1回目、2回目の両日に参加可能な方。
- ◎ 観察したモノを記録するためのカメラでの写真撮影、もしくはスケッチが可能な方。
- ◎ 《デジカメ撮影の場合》 2回目ワークショップの事前にご自分の形式に変換し、規定のサイズでメール送信していただきます。
- ◎ 《スケッチの場合》 2回目ワークショップの事前に原画を郵送していただきます。

【参加】 無料

【定員】 20組(1組何名でも参加可能)

【応募】 左記の応募記入事項を明記してメールまたははがきにて応募。

【応募記入事項】

- 1、参加チーム名、代表者名、人数
- 2、住所
- 3、電話番号(日中連絡可能な番号)

【応募締切】 5月21日(月)

【応募先】 国立民族学博物館「情報企画課ワークショップ担当」

workshop@idc.minpaku.ac.jp

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1

【お問い合わせ】 情報企画課ワークショップ担当
(電話) 06-6878-8532
(ファックス) 06-6878-8242



●交通案内

国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール:「万博記念公園駅」下車徒歩約15分(自然文化園を通行される場合は、入園料が必要となります)。「公園東口駅」下車徒歩約15分。「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス:(近鉄バス) 阪大本部前行き 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分。(阪急バス) 万博記念公園駅経由千里中央行き 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分。「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分。●タクシー: 万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分。●自動車: 駐車施設が無いので「みんなく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分。*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。

●開館時間: 10:00~17:00(入館は16:30まで)

●休館日: 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

●観覧料: 一般 420円(350円)/高校・大学生 250円(200円)/小・中学生 110円(90円)

()は、20名以上の団体料金、大学等の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のライター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等)。毎週土曜日は、小・中・高生は観覧無料です。またワークショップへのご参加の方も観覧無料です。

ただし、自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。

●下記メールアドレス宛に、内容文は空白で(空メール)メールをお送りいただくと今後のワークショップの情報をメールでご案内します。
e-mail:workshopentry@idc.minpaku.ac.jp
メールアドレスはQRコードをご利用いただいても取得できます



国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 情報企画課
電話: 06-6878-8532 (平日9:00~17:00)
http://www.minpaku.ac.jp/

